

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

お客様に寄り添うライフスタイルパートナーであり続け、美容を通じて顧客の豊かな生活と心の形成に貢献する

② 中長期の経営戦略

1. 第二創業期の推進

2030年4月設立40周年に向け、2024年7月～2027年6月を「助走」、2027年7月～2030年6月を「飛躍」と位置付け経営基盤を強化

2. 直営サロン事業の強化

顧客満足度・従業員満足度充実に注力し、生涯利用サロン、安心の就業環境づくりで持続的成長を目指す

3. BSサロン事業の再構築

既存店フォローと新規開拓、リブランディング強化、メンズサロン出店、PB商品のD2C市場開拓を推進

4. 支援事業の拡大

BtoBクレジット決済代行サービスをスタートし、BtoC過度依存を回避。シニア人材向け就業機会提供で人材不足解決を図る

③ 対処すべき課題

① 人材確保と流動性対策

- ・業界全体で美容師の人材流動性が高まる中、優秀人材の採用・育成・定着を最優先課題として取り組む
- ・シニア人材の活躍機会拡大で人材不足解決と社会課題対応を両立

② 経営環境の不透明性

- ・ロシア・ウクライナ情勢、地政学的リスク、円安、資源価格高騰など先行き不透明
- ・物価上昇による消費者の節約志向が強まる中での経営効率最適化が必要

③ 業界構造の課題対応

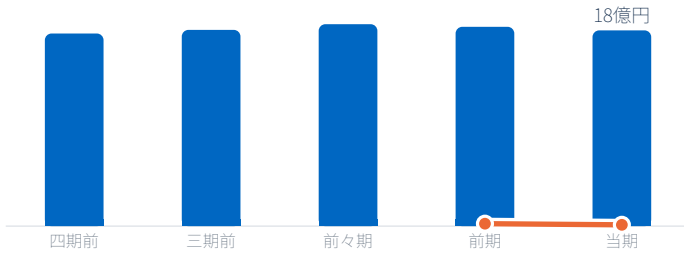
- ・理美容業界のオーバーストア状態と集客・採用競争の激化に直面
- ・上場数少ない美容業界企業としてDX化・GX化推進で業界全体の競争力向上に貢献

面接で使えるポイント

- ・2030年設立40周年に向けた第二創業期において、モッズ・ヘア事業をシンボルに収益力底上げと経営基盤強化に注力
- ・優秀人材の採用・育成・定着を経営の最優先課題とし、従業員満足度と顧客満足度の両立で持続的成長を実現
- ・BtoBクレジット決済代行サービスやシニア人材活用など新たな収益の柱を創出し、社会課題解決と事業成長を両立させる企業

証券コード 9439

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
18億円営業利益率
▲0.5%財務健康度
18点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 28.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
516万円

サービス業内 373位/524社

平均年齢
44.2歳

サービス業内 86位/527社

平均勤続
8.0年

サービス業内 207位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)エム・エイチ・グループ【9439】：決算情報

